和泉市の財政状況

令和4年度決算

和泉市イメージキャラクター
コダイくん・ロマンちゃん

令和5年10月

和泉市　総務部　財政課

財政の基礎知識

「財政」「予算」「決算」とは

「財政」とは・・・	
地方公共団体は、住民の暮らしを支えるため、子育て、福祉、教育などの公共サービスを行っています。さまざまなサービスを行うために、税金や手数料などを徴収したり、市債（借金）を発行したりしています。 このような一連の「お金のやりくり」を財政といいます。	
「予算」とは・・・	「決算」とは・・・
その年度（4月～3月）における歳入、歳出の見積もり（計画）のことを予算といいます。 歳入：市に入ってくるお金（収入）のこと 歳出：市が支払うお金（支出）のこと	その年度（4月～3月）における歳入、歳出の実績のことを決算といいます。 実際に、どれだけの収入があり、どのような事業にいくら支出したのかが分かります。

市のお財布の種類について

和泉市のお財布は、「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」に分かれています。

＜一般会計＞

市の基本的な事業（福祉、教育、ごみ処理、道路など）をするためのお財布です。
税金や国・府からの補助金等が主な財源になっています。

＜特別会計＞

特定の事業を行うためのお財布です。国民健康保険など、保険料等の収入により、医療費等の支出をまかなっています。一般会計と分けることで経理を明確にしています。

和泉市には、次の事業を行うための特別会計があるよ。
①国民健康保険事業　②公共用地先行取得事業　③介護保険事業
④後期高齢者医療事業

＜企業会計＞

民間企業と似た事業を行うためのお財布です。水道など料金収益により維持費用をまかなっています。一般会計と分けることで経理を明確にしています。

和泉市には、次の事業を行うための企業会計があるよ。
①水道事業　②公共下水道事業　③公共浄化槽事業　④病院事業

各会計の決算概要

各会計ごとの決算状況

（単位：千円）

会計区分		歳入	歳出	形式収支	翌年度へ繰越	実質収支
一般会計		73,485,264	73,012,697	472,567	133,863	338,704
特別会計	国民健康保険事業	19,419,978	19,365,710	54,268	0	54,268
	公共用地先行取得事業	563,802	538,232	25,570	25,570	0
	介護保険事業	14,899,767	14,653,534	246,233	0	246,233
	後期高齢者医療事業	2,769,453	2,687,520	81,933	0	81,933
	計	37,653,000	37,244,996	408,004	25,570	382,434
合計		111,138,264	110,257,693	880,571	159,433	721,138

会計区分			収益的収支	資本的収支	資金剰余額
企業会計	水道事業	収入	3,305,079	60,607	2,298,975
		支出	3,029,170	932,449	
	公共下水道事業	収入	4,025,590	1,341,437	1,133,396
		支出	3,541,181	2,575,344	
	公共浄化槽事業	収入	40,477	1,713	2,930
		支出	40,477	1,610	
	病院事業	収入	782,387	1,195,500	0
		支出	1,237,084	1,237,551	

全ての公営企業会計で資金不足は発生していません。
収益的収支とは、日々の営業活動に関するもの、資本的収支とは施設の整備に関するものです。

企業会計の主な増減理由

水道事業

収益的収入について、三井受水場跡地売却に伴う固定資産売却益があったものの、長期前受金戻入が減少していることから、前年度から849万円の減収となりました。
一方、収益的支出については、電気代高騰の影響による動力費の増加等により、原水及び浄水費が増加したことで、前年度から4,915万円の増となったことから、単年度収支は2億7,591万円となりました。

公共下水道事業

収益的収入について、有収水量が前年度から微減したことによる下水道使用料の減及び雨水処理負担金の減などにより前年度から838万円の減収となりました。
一方、収益的支出については、支払利息及び企業債取扱諸費が減少しているものの、流域下水道維持管理負担金や下水道排除業務委託料等が増加したことで、前年度から1,323万円の増となったことから、単年度収支は4億8,441万円となりました。

公共浄化槽事業

公共浄化槽事業は、令和4年度から地方公営企業法を適用し、企業会計方式となりました。
収益的収入は浄化槽使用料と一般会計補助金が大半を占めており、収益的支出は人件費や維持管理費、減価償却費が大半を占めています。

病院事業

入院患者数は前年度比0.5%増の延べ11万3,248人、外来患者数は前年度比3.2%増の延べ25万9,157人となりました。
収益的収支において、収入は指定管理者負担金の長期前受金戻入の増加により前年度比19.9%増の7億8,239万円、支出は前年度比0.6%増の12億3,708万円となりました。

企業会計の詳細は、担当部署のホームページをご覧ください。

水道事業会計　https://www.izumi-suido.com/jyosuido/izumi_12.htm

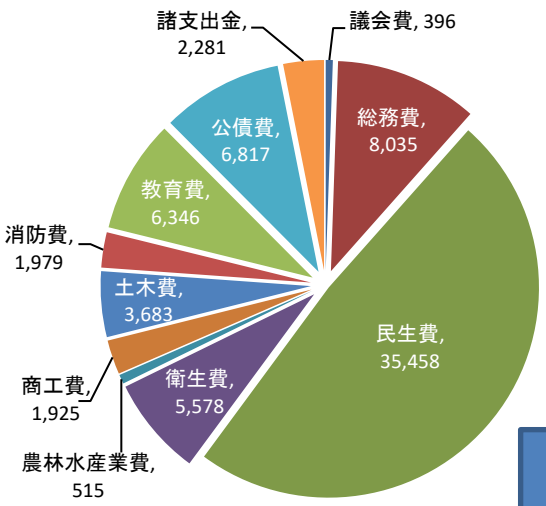
公共下水道事業会計、公共浄化槽事業会計　https://www.izumi-suido.com/gesuido/izumi-g/ig_ketsusan.html

病院事業会計　https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kosodatekenkobu/byouinkeieikanri/gyoumu/yosankessan/12009.html

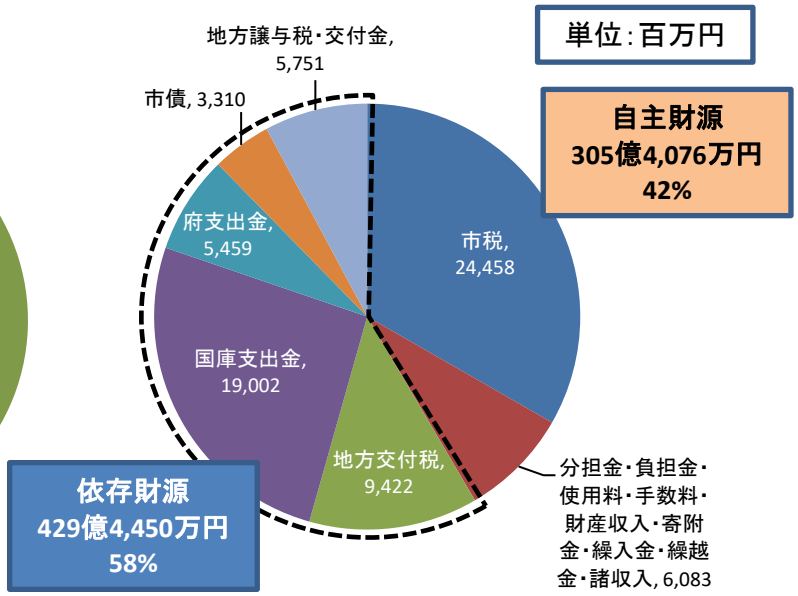
一般会計の決算

一般会計の決算は　3億3,870万円　の黒字となりました。

歳出　730億1,270万円



歳入　734億8,526万円



令和4年度　一般会計決算は、

市に入ったお金（歳入）は、734億8,526万円

市が使ったお金（歳出）は、730億1,270万円

差し引き（形式収支）は、4億7,256万円　でした。

　このうち令和4年度に事業完了しなかった　1億3,386万円　を次年度に繰り越して使います。

形式収支から繰り越しする財源を差し引いた　3億3,870万円　が実質収支となります。

＜参考＞

令和3年度　一般会計決算は、

市に入ったお金（歳入）は、767億6,492万円

市が使ったお金（歳出）は、760億1,145万円

差し引き（形式収支）は、7億5,347万円　でした。

　このうち令和3年度に事業完了しなかった　1億718万円　を次年度に繰り越して使います。

形式収支から繰り越しする財源を差し引いた　6億4,629万円　が実質収支となります。

一人当たりの歳出額

和泉市

令和4年度決算における市民一人当たりの歳出額

議会費
2,163円
議会の運営のために

総務費
43,854円
庁舎の管理などのために

民生費
193,532円
福祉や子育てのために

衛生費
30,449円
環境保全などのために

農林水産業費
2,809円
農林業などのために

商工費
10,509円
商業振興のために

土木費
20,100円
公共事業などのために

消防費
10,800円
消防のために

教育費
34,635円
教育のために

公債費
37,210円
借入金返済のために

福祉や子育てにかかる費用（民生費）が大きいんだな。

他の市町村と比較すると・・・

令和3年度決算における市民一人当たり歳出額の類似団体・大阪府内平均との比較

議会費	2,177円
類似団体平均	2,014円
大阪府内平均	1,783円

総務費	55,678円
類似団体平均	47,369円
大阪府内平均	50,399円

民生費	200,894円
類似団体平均	193,025円
大阪府内平均	249,556円

衛生費	31,314円
類似団体平均	42,501円
大阪府内平均	48,451円

農林水産費	3,130円
類似団体平均	2,574円
大阪府内平均	843円

商工費	4,767円
類似団体平均	7,030円
大阪府内平均	9,997円

土木費	25,699円
類似団体平均	32,605円
大阪府内平均	53,326円

消防費	9,232円
類似団体平均	12,824円
大阪府内平均	13,151円

教育費	33,276円
類似団体平均	47,991円
大阪府内平均	65,776円

公債費	42,070円
類似団体平均	26,982円
大阪府内平均	46,163円

類似団体とは

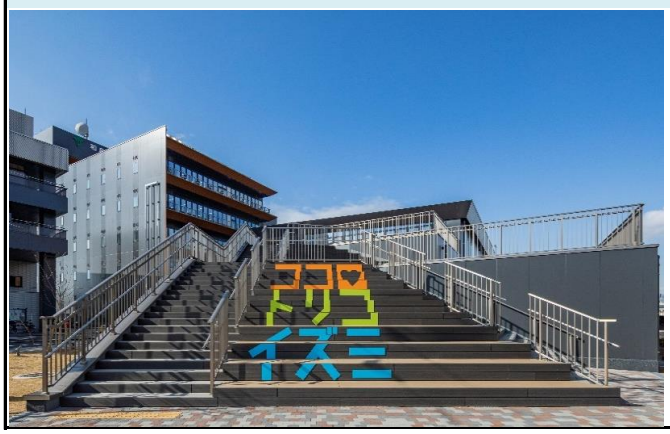
人口や産業構造で日本全国市町村を分けた「市町村類型」で同じグループに入る団体のことをいいます。

令和3年度決算における当市の類似団体は、関西では、京都府宇治市、兵庫県伊丹市、川西市だよ。

令和3年度の市民一人当たりの民生費は200,894円で類似団体平均と比較して多くなっているのは、社会保障経費が多くなっているためです。また、新庁舎整備事業の実施などで総務費の市民一人当たりコストが高くなっています。

令和4年度 に取り組んだ主な事業

●新庁舎の完成



令和4年度決算額：25億5,226万円

令和3年5月6日の新庁舎棟開庁後も引き続き、庁舎駐車場（立体・平面）及び飲食物販棟などの整備工事を行い、令和4年12月に新庁舎整備事業が竣工し、グランドオープンしました。

●（仮称）槇尾学園の建設工事に着手

令和4年度決算額：4億2,571万円

槇尾中学校敷地を活用した施設一体型義務教育学校（小中一貫校）について、令和7年開校をめざし、新校舎整備にかかる実施設計を策定し、新体育館建設工事に着手しました。

●おでかけ支援チケットの金額を拡充

令和4年度決算額：4,068万円

令和2年度から実施しているおでかけ支援事業について高齢者（満75歳以上）の健康づくり及び地域公共交通の利用促進を図るため、配布するチケットを対象者1人当たり2千円から3千円に拡充しました。

●コロナ禍・物価高騰対策の実施

長期化するコロナ禍における対策や物価高騰の影響を受ける生活者及び事業者の支援として、国の臨時交付金を活用し、市独自支援策を実施しました。

支援事業
- お買い物割引チケットの配布：16億5,741万円
- 学校園PCR検査：130万円
- 貨物自動車運送事業者燃料価格高騰対策支援事業：908万円
- 民間保育所等物価高騰対策支援事業：1,160万円
- 介護等福祉施設物価高騰対策支援事業：5,565万円

●あゆみ野三丁目南交差点改良工事に着手

令和4年度決算額：1,708万円

慢性的な交通渋滞が発生しているあゆみ野三丁目南交差点において、交差点改良工事に着手しました。

●（仮称）池上プレイステージ整備事業

令和4年度決算額：2,161万円

池上曽根史跡公園について、幅広い人に愛される新たな交流拠点とするため、令和8年リニューアルオープンをめざし、設計を行いました。

●保育士就職支援の実施

令和4年度決算額：1,000万円

民間保育所等における保育人材の確保を図り、質の高い保育を提供するため、新規採用保育士への就職支援補助を実施しました。

補助金額　1人当たり25万円（上限額）

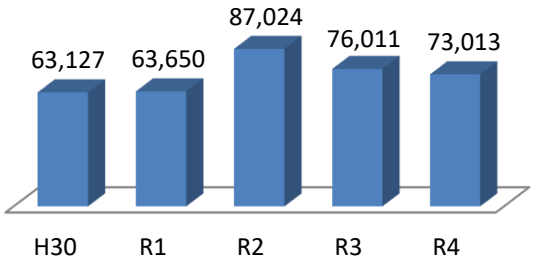
●南部地域活性化の取組

- 南部地域等の人口減少対策として、対象地域において新たに住宅を取得し、又は賃貸し、居住する方を対象に、住宅取得費用の一部支援を開始しました。　令和4年度決算額：1,420万円

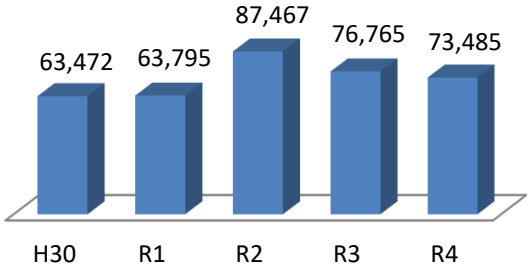
- 大阪外環状線沿道における土地利用基本計画の策定に取り組みました。　令和4年度決算額：719万円

一般会計における5年間の決算状況の推移

歳出決算額の推移　（単位：百万円）

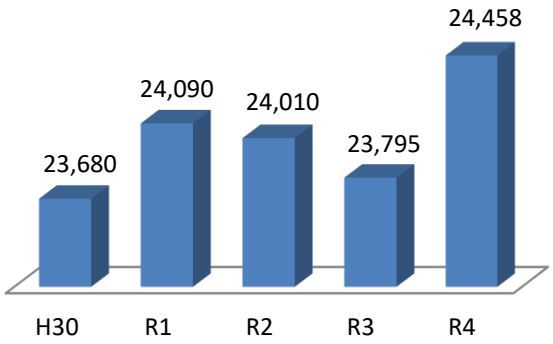


歳入決算額の推移　（単位：百万円）

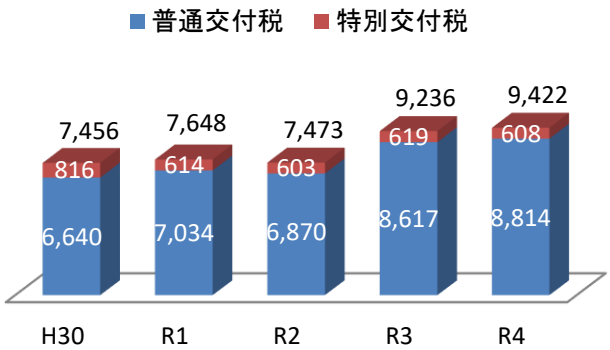


令和4年度の歳出	730億1,270万円	令和4年度の歳入	734億8,526万円
前年度比較	29億9,875万円（3.9%）減少	前年度比較	32億7,966万円（4.3%）減少
主な増減要因	新庁舎整備事業や新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策として実施した給付金事業等において減少しました。	主な増減要因	歳出において、新庁舎整備事業や各種給付金事業が減少したことに伴い、市債および国庫支出金等が減少しました。

市税の推移（単位：百万円）



地方交付税の推移　（単位：百万円）

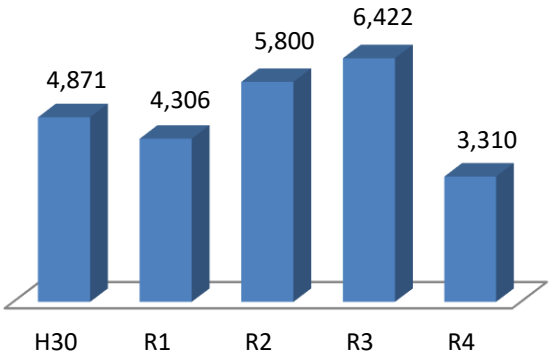


令和4年度の税収	244億5,812万円	令和4年度の地方交付税	94億2,177万円
前年度比較	6億6,294万円（2.8%）増加	前年度比較	1億8,496万円（2.0%）増加
主な増減要因	個人市民税が2億3,366万円、法人市民税が1億5,052万円、固定資産税が1億5,977万円増加しました。	主な増減要因	普通交付税が1億9,583万円増加し、特別交付税が1,087万円減少しました。

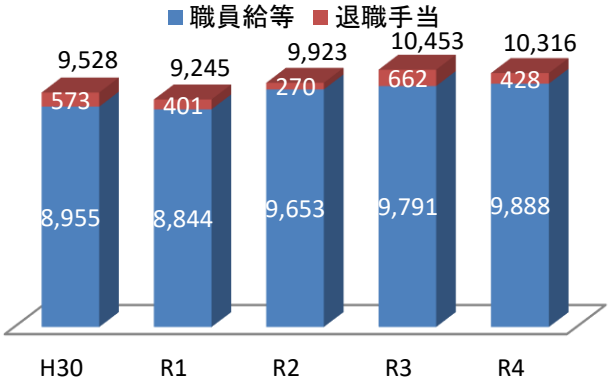
用語の説明

地方交付税	住民サービスに必要な費用が、市税などの収入を上回ったときに国から交付されるお金であり、普通交付税と特別交付税の合計
	普通交付税　＝　基準財政需要額（費用）　－　基準財政収入額（収入）
人件費	職員の給与などの費用
扶助費	保育や高齢者、障がい者などの支援のための費用
建設事業費	道路や学校、庁舎などの整備・改修費用

市債発行額の推移 （単位：百万円）

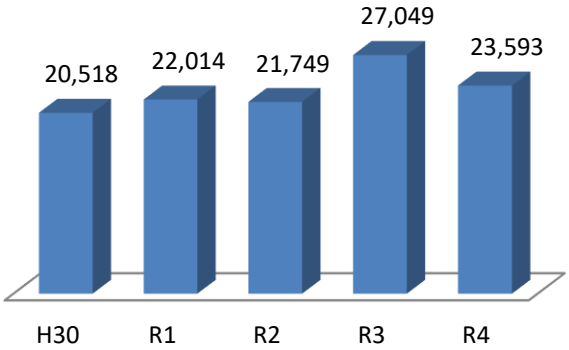


人件費の推移 （単位：百万円）

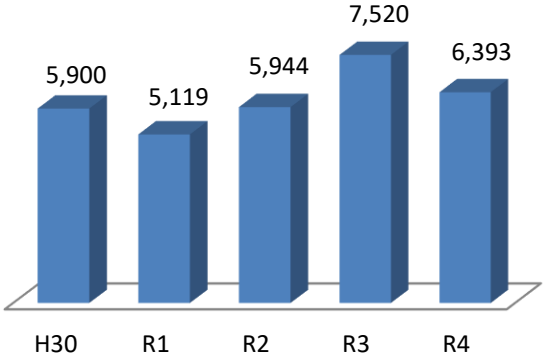


令和4年度の市債発行額	33億1,010万円	令和4年度の人件費	103億1,648万円
前年度比較	31億1,210万円（48.5%）減少	前年度比較	1億3,695万円（1.3%）減少
主な増減要因	庁舎整備費において13億2,680万円、臨時財政対策債において10億880万円減少しました。また、R3に借換を実施したため、R4は前年度と比較して減少しています。	主な増減要因	R3は定年退職者の増加により、退職手当が増加しましたが、R4は2億3,386万円減少しました。

扶助費の推移 （単位：百万円）



建設事業費の推移 （単位：百万円）



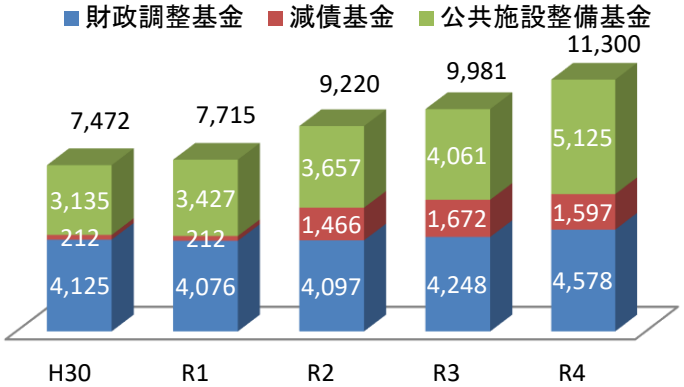
令和4年度の扶助費	235億9,255万円	令和4年度の普通建設事業費	63億9,337万円
前年度比較	34億5,635万円（12.8%）減少	前年度比較	11億2,678万円（15.0%）減少
主な増減要因	新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策として実施した給付金事業等において、39億7,270万円減少しました。	主な増減要因	槇尾学園の整備費で3億3,054万円増加しましたが、庁舎整備費で11億3,906万円減少しました。

これから（仮称）槇尾学園の建設、老朽施設の改修のほか、富秋中学校区等まちづくり構想も検討されているよ。
建設事業費は、これからも増加する見込みだよ。

木材だったら、いずもく（和泉市内産木材）がオススメだぞ

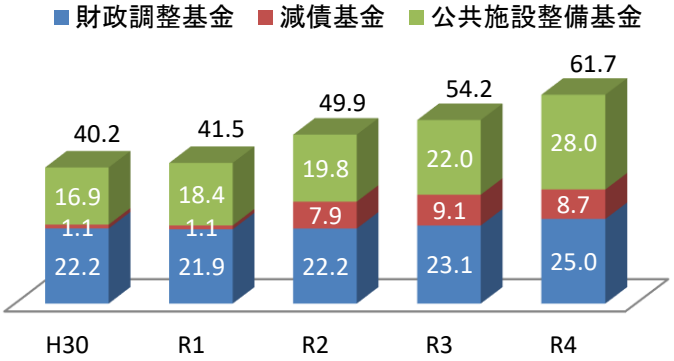
木鬼（きき）

主要3基金残高 （単位：百万円）

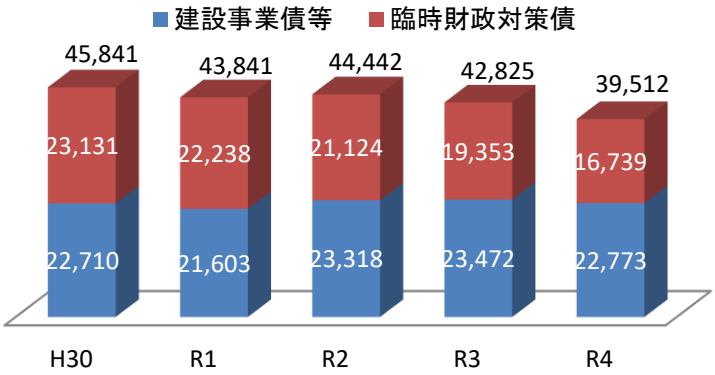


市民一人当たり主要3基金残高

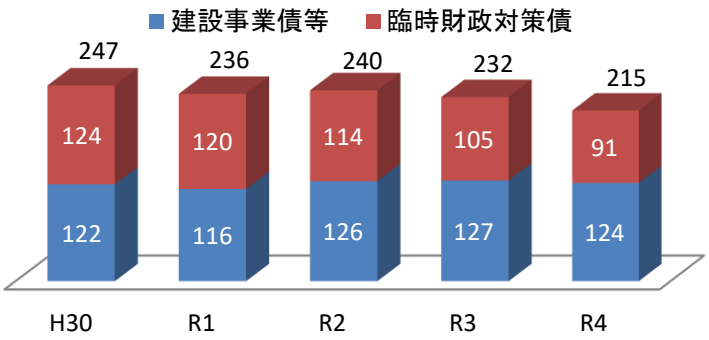
（単位：百万円）



市債残高 （単位：百万円）



市民一人当たり市債残高 （単位：千円）



令和4年度末の一般会計の貯金（3基金残高）は約113億円だよ。

これから人口減少による税収の減少、社会保障費の増加、施設の老朽化対策も必要なので貯金が減っていく見込だよ。

常に、10年後にも貯金が30億円をキープできるように、将来を見据えて運営しているんだ。

用語の説明

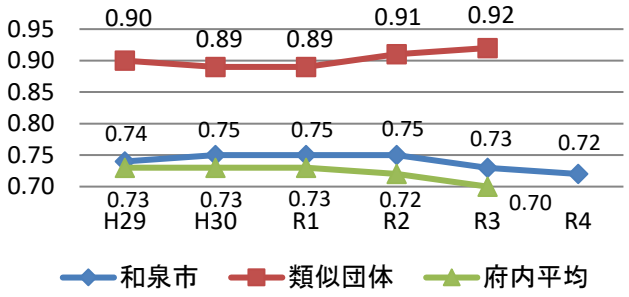
建設事業債等	臨時財政対策債
道路や公園、学校などの公共施設の整備のために発行した市債です。	国が交付すべき地方交付税の財源が不足した場合に、穴埋めとして市が発行する市債です。 返済時に地方交付税で補填されます。

令和4年度末の一般会計の借金は、約395億円だよ。

借金をするのは・・・
建物や道路は作った年度だけでなく将来にわたって使われるよ。
作った年度の住民だけに負担してもらうのではなく、将来の住民にも負担してもらうため、借金の返済という形で世代間の公平を保っているんだね。

指標による他市との比較

財政力指数

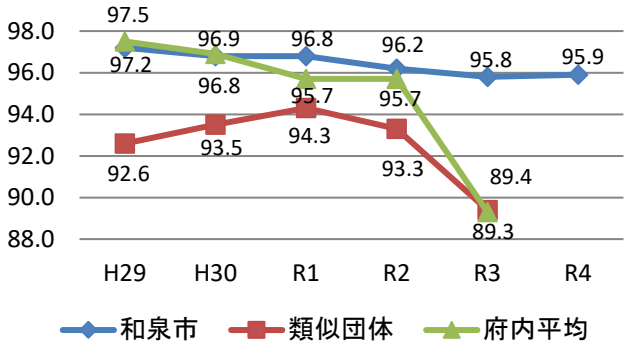


令和4年度の財政力指数　0.72

費用に対する収入の割合です。
基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値の過去3年平均値で、数値が大きい方ほど財源に余裕があることになります。

令和3年度の指数を類似団体と比較すると0.19ポイント悪くなっています。
和泉創発プランによる財政健全化に引き続き取り組むとともに、市税の徴収強化等により歳入確保を行う必要があります。

経常収支比率 （単位：%）

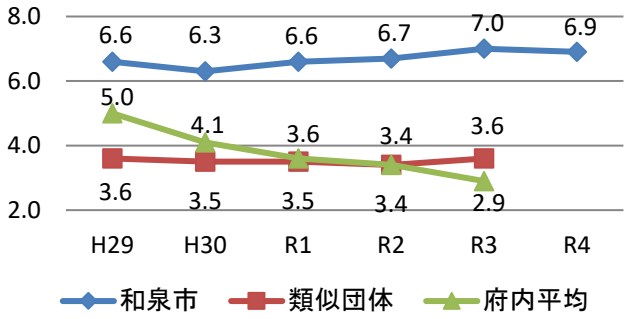


令和4年度の経常収支比率　95.9

市税や交付税などの使途が決められていない収入が、人件費、扶助費、公債費など経常的な費用に充当される割合です。
数値が小さいほど、財政に自由度があるといえます。

公債費が多いことから、令和3年度の比率を類似団体と比較すると6.4ポイント悪くなっています。
昨年度と比べ類似団体との差が広がっているため、和泉創発プランによる経常経費の見直しや市税収入の確保を引き続き行う必要があります。

実質公債費比率 （単位：%）



令和4年度の実質公債費比率　6.9

借入金（市債）等の標準財政規模に対する比率の過去3年平均値です。数値が小さいほど、借入金返済にかかる経費が少ないといえます。

市域が南北に広いことで多くの公共施設や道路が整備されたため、令和3年度の比率を類似団体と比較すると3.4ポイント悪くなっています。
今後も公共施設の維持、更新が発生するため市債の発行・償還が想定されますが、事業費縮減に努めることで公債費の抑制を図ります。

早期健全化基準、財政再生基準

（単位：%）

指標名称	令和4年度	早期健全化基準（黄信号）	財政再生基準（赤信号）
実質赤字比率	－	11.59	20.00
連結実質赤字比率	－	16.59	30.00
実質公債費比率	6.9	25.0	35.0
将来負担比率	－	350.0	

※赤字額がない、数値が負数となるなど、比率が算定されないものは「－」と表示しています。

早期健全化基準は全てクリアしているんだ。

和泉市の現状と課題

(1)人口減少による市税の減少、社会保障費の増加

「トリヴェール和泉」を中心とした開発により、平成27年3月末の住民基本台帳人口は、18万7,166人でしたが、令和5年3月末の人口は18万3,214人となりました。

今後も生産年齢人口の減少による市税収入の減少、高齢化による社会保障経費の増加が見込まれます。

このことから、人口減少の影響を最小限にするため、定住促進施策など様々な課題に対処するまちづくりの取組を行うとともに、経常経費の見直し等による歳出削減、使用料や手数料の受益者負担の適正化や新たな歳入の確保に取り組みます。

(2)公共施設の老朽化

令和4年3月末において本市が所有する公共施設の延床面積は572,818㎡であり、内訳をみると、学校教育系施設が全体の37.8%、次いで市営住宅が27.8%となっており、合わせて全体の65.6%を占めています。

和泉市公共施設等総合管理計画では、本市が所有する普通会計対象の公共施設などを現在と同規模で維持し続けると仮定した場合、今後25年間で総額約1,416億円(1年当たり約57億円)の改修・更新費用が見込まれています。特に令和10年代中頃から令和20年代後半にかけ、多くの施設が更新時期を迎えることが予測されています。

これらを踏まえ、公共施設等総合管理計画においては、本市が所有する普通会計の公共施設を30年間で、延床面積を70%まで縮減することを目標としています。

行財政改革に取り組んでいるよ。

創発プラン(改訂版)における健全化項目(一部)

令和4年度決算見込ベース

(1)歳入の確保　　効果額(単位:百万円)

		R2	R3	R4	R5	R6	R2-R6計	R2-R13計
活用が見込めない財産の売却	創発プラン見込額	32		268	101		401	1,041
	R4決算見込額ベース	32		309	60	206	607	1,438
市営住宅の駐車場使用料の見直し	創発プラン見込額	5	20	30	30	30	115	325
	R4決算見込額ベース	5	20	26	26	30	107	317
歳入における取組合計	創発プラン見込額	70	54	327	159	56	666	1,669
	R4決算見込額ベース	70	54	371	114	263	872	2,066

(2)歳出における取り組み　　効果額(単位:百万円)

		R2	R3	R4	R5	R6	R2-R6計	R2-R13計
経常経費の見直し(マイナスシーリング)	創発プラン見込額	72	72	72	92	92	400	1,044
	R4決算見込額ベース	72	72	72	92	92	400	1,044
敬老祝金・祝品を見直し、他の高齢者施策に活用	創発プラン見込額	38	42	42	42	42	206	500
	R4決算見込額ベース	38	42	37	42	42	201	498
歳出における取組合計	創発プラン見込額	226	300	337	353	387	1,603	4,038
	R4決算見込額ベース	226	300	390	353	385	1,654	4,092

みなさまの身近な取組が歳出削減につながります。

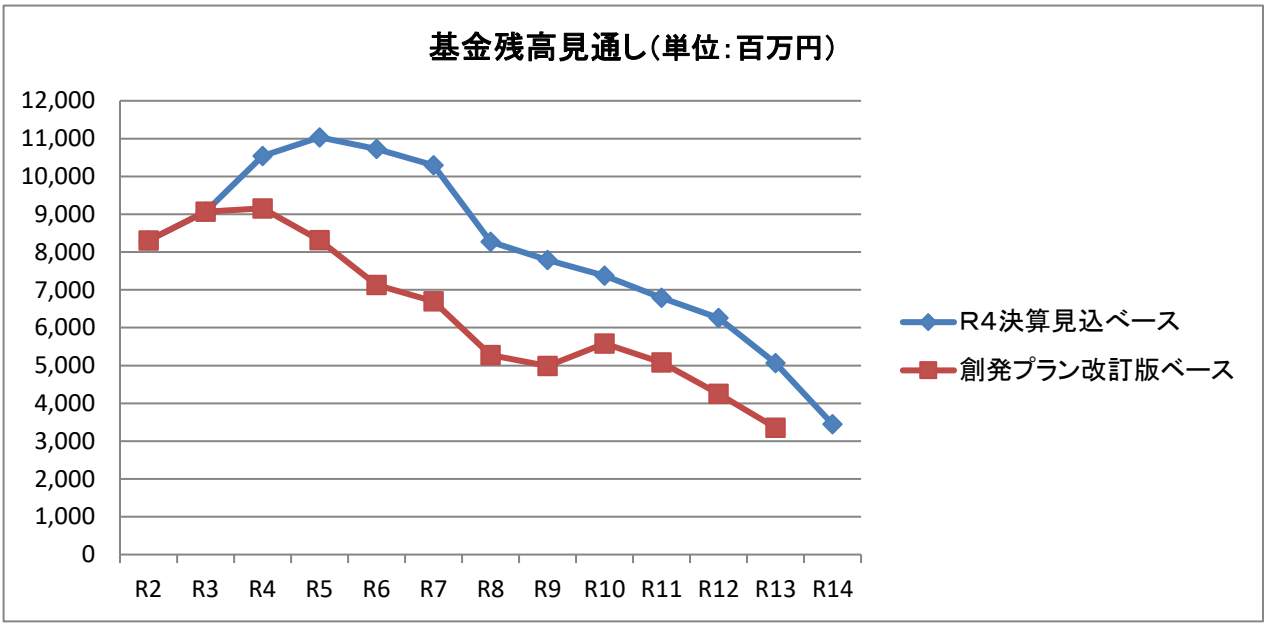
収支・基金残高見通し

令和4年度決算見込みベースにおける収支見通し　（単位；百万円）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
実質収支	284	646	339	385	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金残高	8,309	9,070	10,539	11,035	10,728	10,299	8,274	7,791	7,373	6,794	6,260	5,066	3,447

創発プラン改訂版（令和4年12月）における収支見通し　（単位；百万円）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
実質収支	284	646	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金残高	8,309	9,070	9,156	8,318	7,132	6,695	5,276	4,985	5,576	5,080	4,250	3,353



決算時点から10年後までの各年度末基金残高として約30億円を確保することを目標としているよ。

基金（貯金）がなくなってしまうと、その年の収入の範囲内でしか行政サービスを提供できなくなるよ。そうなれば、今よりも行政サービスは低下するし、公共施設が廃止されたりすることがあるよ。

今後の主な施策、行財政改革の詳細については、「和泉創発プランを改訂しました」をご覧ください。

https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kousitu/kikaku/izumi_souhatsu_plan/koukei_keikaku.html

その進行管理については、「和泉創発プランの進行管理について」をご覧ください。

https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kousitu/kikaku/izumi_souhatsu_plan/14848.html

和泉市イメージキャラクター
コダイくん・ロマンちゃん